

# 07 株式会社 イエス住宅

〒039-1165 八戸市石堂2-29-6 フラールッシュマンション1階  
TEL 0178-38-3851 FAX 0178-38-3852  
HP <https://www.yes-housing.com/> mail [yes.juutaku@air.ocn.ne.jp](mailto:yes.juutaku@air.ocn.ne.jp)

VOICE

代表取締役  
沖田 高広



木の香りや木目に  
癒やされる家

天井から床まで、すべて  
青森県産スギ材を使用。  
一般的な住宅の3~4倍  
の木材を使用している。

## 木の力を最大限引き出した「呼吸する家」

### 伊勢神宮にも使われる 「板倉構法」を住まいに

12cm角の柱1本には、ピールの大瓶1本分の水分を吸放湿する力があると言われています。私たちが造るのは、そんな天然の素材が主役の「呼吸する家」。お客様の希望に耳を傾け、理想の住まいを目指します。

主に使用する県産材はスギ。断熱性と調湿性、耐火性<sup>1</sup>にも優れています。これらの特長を最も発揮できると注目したのが、「板倉構法」<sup>2</sup>という伊勢神宮にも使われる伝統構法です。熟練の職人が仕上げる家は木の粘りが活かされ、地震にも強いです。

とはいえ、質の高い木の家を追求すると、手の届かない価格になってしまいます。そこで、私たちは高品質の木材を直



接仕入れ、価格を抑えました。

### 「快適」「よく眠れる」 愛着湧くマイホーム

「湿度が一定で快適」「木の香りが良く、心地よく眠れる」。県産材で家を建てたお客様からは、好意的な感想が数多く寄せられています。

私自身も県産のスギを使った板倉造りの家に暮らし、期待以上の効果を感じています。夏でもカラッと涼しく、

ほとんどエアコンを付ける必要がありません。断熱材を使っていないのに、冬も床暖房だけで快適。優れた吸放湿効果により湿度は50%前後をキープし、1日約300円の暖房費で家中どこでも暖かく過ごせます。体調も良くなり「生活が変わった」と言っても過言ではありません。

県産材を使った家は経済的で、気候にもマッチしています。月日を経るごとに味わいが増すのも醍醐味です。長く愛着を持てるマイホームの夢を、私たちと一緒にかなえましょう。



1.耐火性/断面が大きい木材の場合、表面は燃えても内部までは達しないため、耐力の低下がゆるやか。(一般財団法人 日本木材センターHPより)  
2.板倉構法/溝を掘った柱と柱の間に、横板を落とし込んで壁とする建築手法。

# 08 有限会社 岩木建設

〒034-0107 十和田市大字洞内字井戸頭175-1 TEL 0176-27-2906 FAX 0176-27-3259  
HP <http://iwakinoie.co.jp> mail [iwaki@sea.plala.or.jp](mailto:iwaki@sea.plala.or.jp)

VOICE

代表取締役  
岩木 勝志



木の温もりが  
優しく包み込む家

広々としたリビングの天井や階段、床は全て青森県産材。リラックスできる優しい空間が広がる。

## 青森の木で造る 100年安心の住宅

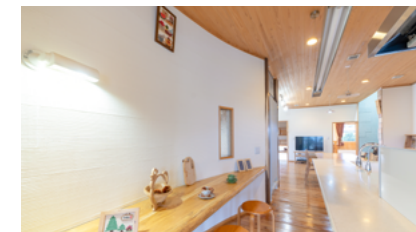
### 感じてほしい 地元の木の温もり

「住む人へのやさしさを追求する」。それが私たちの作る「いわきの家」のモットーです。お客様の喜ぶ顔を思い浮かべながら、木材の特徴をよく知る熟練の大工が丁寧に建てています。

青森の木は厳しい冬に長年耐えてきたため、身が締まっていて高品質。私たちが建てる家は、そのような木材を活用した丈夫な「100年安心の住宅」。長さ8mの木材を保管し、いつでも使える状態にしています。短い木を組み合わせることで強度が高くなり、耐震性も向上するからです。

家の土台に使うのは、防虫、抗菌効果がある青森ヒバ。雨が当たる外壁には、

耐朽性のあるクリが最適です。床材には、厚さ3cmに加工した県南地方のスギ。柔らかくて肌触りが良い上、熱を逃がさない性質もあるため、冬でも素足で快適に生活できます。肌に直接触れる床だけでも無垢材<sup>1</sup>を使い、地元の木の温もりを感じてほしいです。



### 一年を通して快適な 長いひさしの「下屋造り」

私たちは、黒石市の「こみせ通り」をヒントにした、長いひさしのある「下屋

造り」も多数手掛けています。夏は強い日差しを遮るので涼しさを保ち、太陽が低い冬は光が入り込むため「エアコンに頼らなくても一年中快適」というご感想をいただいています。

木の家は、だんだんと色合いが深くなっていき、どんなに年数がたっても飽きることがありません。地元で育った木の香りが漂い、心身共にリラックスすることができる地産地消の家づくりをお勧めします。



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材





和の心が伝わる  
数寄屋造り

青森の木の美しさを活かし、奥ゆかしい空間が広がる数寄屋造りの家。室内からは庭の風景が楽しめる。

## 匠の技ちりばめた“和の空間”

### 一本一本違う木の個性 熟練の大工が見極める

住まいの機能性を重視しながら、伝統的な日本建築の美しさも追究し、良質な木材と確かな技術で建てるのが、私たちが手掛ける「大山の家」。そこに使うのは、南部アカマツやスギなど、青森県で育った無垢材<sup>1</sup>です。一本一本違う個性の木を熟練の大工が見極め、適材適所で使っています。

冬の厳しい寒さに耐えて育った青森の木は、柔らかな色合いと美しい木目を



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材  
 2.数寄屋造り/茶室(=数寄屋)を建てる際の様式を取り入れた、日本の伝統的な建築手法

持っています。お客様はもちろん、全国各地の木を見てきた建築家の方々からも「青森にはこんなにも素晴らしい木があるのか」という驚きの声を、何度もいただきました。

### おもてなしの心が 自然と生まれる空間に

私たちが建てる、青森の木の美しさを生かした家には、数々のコンテストで入賞歴がある建築家・前田伸治氏と、青森県内でも優れた技術を持つ中里政義棟梁をはじめとする、当社の大工たちによる匠の技がちりばめられています。また、私たちは「京都伝統建築技術協会」に加盟し、青森県では珍しい数寄屋造り<sup>2</sup>にも取り組んでいます。

無垢材を使った住宅は、木の優しい香

りが漂い、健やかな毎日を過ごせます。実際に私たちが手掛けた家に住む方々は「身近に木の存在を感じられて住み心地が良いし、時とともに木があめ色に変化していく味わい深さを楽しめる」と話してくださいませ。

住まいはご自身や家族が安らぐ場所であることはもちろん、お客様を招き入れる空間でもあります。品性を大切にしたい和の空間で、おもてなしの心が自然と生まれる家を作り上げるのが、私たちのモットーです。



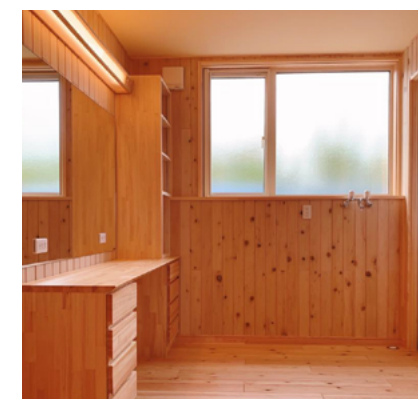
木の温もり伝わる  
自然と共に生きる家

木の自然な色合いが、心を和ませる空間をつくり出している。暖房は薪ストーブを使用。

## 家に帰りたくなる家

### 美しく変化する アカマツの床

私たちは無垢材<sup>1</sup>を使った、暖かみのある家づくりにこだわりを持っています。無垢材は健康を害する恐れがある化学物質を出さないことはもちろん、耐久性、断熱性にも優れているため、快適な



1.無垢材/原木から角材や板を直接必要な寸法に切り出した建材

空間で暮らすことができるからです。また、地元の気候風土で長年育った無垢材をふんだんに使った家は、住む人の肌が一番合うと考えています。

特に南部アカマツは、この地域にしかない木材。木目がきれいで、やさしい色合いは、年数が経てば経つほど、美しいあめ色に変化していきます。私たちは、南部アカマツを主に寝室の床材で使用しています。今後は青森ヒバでも同様の床材を作り、さらに多くの皆さまへ、青森の木の魅力を伝えていきます。

### 女性大工が手掛ける 使い勝手のいい家

私たちは 2020 年度の「あおり産木造住宅コンテスト」で、リフォーム賞を受賞しました。この住宅の洗面・脱衣所の壁は青森ヒバ。お風呂で温まった体を、



爽やかな香りが包み込みます。縁側にはアカマツを使用。「木の温もりを感じながら素足で歩ける家にしたい」というお客様のご希望をかなえる家に仕上げました。

当社には女性大工もいます。住む方にとって使い勝手がいいよう、ちょっとした工夫や優しさを施す手間は惜しみません。目指すものは「家に帰りたくなる家」。「食」にこだわる方は多いですが、「住」にも同じくらいこだわりを持った家づくりを、一緒に考えてみませんか？